

メモリー - 写真で見る戦争とは -

■戦時中は、子どもたちの教育においても大きな影響を与えました



「大河原小学校の様子」

(昭和15年)

大河原小学校は、交通の便が悪く中等教育が受けられない村からの通学者もあり、地域の人材育成に大きな役割を果たしました。

「大河原国民学校の生徒たち」

(昭和17年)

当時は、軍国主義的要求に役立つ人材の育成が求められていたため、国民学校令が公布されたことにより、小学校はすべて国民学校と名前を改めることとなりました。大河原小学校もそのひとつです。

戦時下では田植えや稲刈りなど学校をあげて勤労に従事していました。また、空襲警報が発令されたり、応召者の歓送等もあり、勉強どころではありませんでした。



■「贅沢は敵だ」のスローガンのもと当時は・・・



「養蚕の手伝い」

戦争中は、食糧難が深刻となっていました。

東秩父村をはじめとした農村では、開墾や空き地での菜園作り・勤労奉仕などが行われましたが、農業労働力の不足などさまざまな問題が起きていました。